

## 第2節 予防対策

### 1 感染症

#### (1) 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

#### ① 1～3類感染症の発生状況

##### A. 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	—	—	—	—	—
2類	急性灰白髄炎	患者等	—	—	—	—	—
	ジフテリア	患者等	—	—	—	—	—
	重症急性呼吸器症候群	患者等	—	—	—	—	—
	結核	患者等	59	70	95	70	65
2類感染症 小計			59	70	95	70	65
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	6	11	17	4	4
		無症状病原体保有者	—	—	4	5	10
	コレラ	患者等	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	患者	—	—	2	—	1
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	腸チフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	パラチフス	患者	—	1	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
疑似症患者		—	—	—	—	—	
3類感染症 小計			6	12	23	9	15

※平成19年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、感染症分類の見直しが行われた。コレラ・細菌性赤痢・腸チフス・パラチフスが2類から3類に変更され、新たに、結核・重症急性呼吸器症候群が2類感染症に位置づけられた。

##### B. 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	平成25年										平成26年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2類	結核	7	4	11	8	9	3	9	2	5	4	—	3	65	
	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ジフテリア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	—	1	—	9	1	2	—	—	—	—	—	14	
	コレラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	
	腸チフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	パラチフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		8	4	12	8	18	5	11	2	5	4	0	3	80	

② 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				施設数
		医療機関	介護保険施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	—	2	7	1	10
感染性胃腸炎	ロタウイルス	—	—	2	—	2
感染性胃腸炎	アデノウイルス	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎	不検出	—	—	9	—	9

③ 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

1) 感染症対策従事者研修会（基礎編）

テーマ	感染症予防と集団発生時の対応
日時	平成 25 年 7 月 26 日 13:30～15:00 平成 25 年 8 月 8 日 10:00～11:30
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	大津市保健所 中村 由紀子（医師）
参加者数	計 134 人

感染症対策従事者研修会（医療従事者対象）

テーマ	H I V / エイズの現状と最新の医療
日時	平成 25 年 9 月 26 日 15:00～16:00
対象者	市内の医療・保健関係者
講師	国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部員 白阪 琢磨氏（医師）
参加者数	61 人

当課で企画している研修会以外にも、団体より依頼のあった研修会に講師として出動している。

2) 感染症対策出前研修会

テーマ	施設における感染予防について
内容	・集団生活の中で注意すべき感染症について ・標準予防策
対象施設	社会福祉施設（通所・入所施設を優先）
講師	感染症対策担当保健師
出前施設数	17 施設
参加者数	214 人

3) 感染管理実務担当者会議

議題	①情報提供（感染症の発生状況・感染症対策に関する事業） ②各施設における平時の感染症対策について情報交換 ③講座「研修会参加率向上に向けての取り組み」 講師：大津赤十字病院 奥田 円氏（感染管理認定看護師）
日時	平成 25 年 8 月 30 日 15:30～17:30
対象者	市内病院感染管理看護師・感染症対策担当者、社会福祉施設の感染症対策担当者 市役所所管課（福祉・教育関係課）の感染症対策担当者
参加者数	25 人

#### ④ 高病原性鳥インフルエンザ対策

市内での発生を想定し、マニュアルに沿った保健所職員の研修会及び防疫作業に従事する県職員を対象に防護服の着脱研修会を実施した。

開催日	参加者 (人)	内容
平成 25 年 11 月 22 日	保健所職員 8 人	・ 高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・ 防護服着脱演習
同 11 月 27 日	保健所職員 15 人	・ 高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・ 防護服着脱演習
同 12 月 19 日	滋賀県庁職員 68 人	・ 防護服着脱演習 ・ 殺処分従事時当日の流れ

## 2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生日防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

### (1) 感染症法第 37 条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況 (単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	合計
			一般	退職					
	本人	家族		本人	家族				
前 年 末 数	-	-	1	-	-	-	-	-	1
新規承認数	7	-	5	1	-	12	2	-	27
解 除 数	7	-	5	1	-	11	2	-	26
本 年 末	-	-	-	-	-	1	-	-	1

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（平成 25 年 1 月～12 月末）。

### (2) 感染症法第 37 条の 2 の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況 (延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	無保険	合計
			一般	退 職						
	本 人	家 族		本 人	家 族					
申 請	40	13	29	1	1	39	1	1	1	126
承 認	40	13	29	1	1	39	1	1	1	126
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の 95%に相当する額を公費負担するもの（平成 25 年 1 月～12 月末）。

### (3) 結核新登録状

新登録患者状況（年齢階級別）

(単位：人)

年齢	新登録患者		活動性結核							潜在性結核感染症（別掲）
			活動性肺結核						肺外結核	
	患者数	罹患率	総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				初回治療	再治療	計				
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
15～19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
20～29 歳	1	2.8	1	1	-	1	-	-	-	4
30～39 歳	1	2.2	1	1	-	1	-	-	-	5
40～49 歳	2	4.0	2	2	-	2	-	-	-	10
50～59 歳	4	9.6	2	1	-	1	1	-	2	13
60～69 歳	5	10.4	4	4	-	4	-	-	1	1
70 歳以上	28	51.9	23	16	-	16	7	-	5	1
合 計	41	12.0	33	25	-	25	8	-	8	37

(平成 25 年 1 月～12 月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況 (年齢階級別)

(単位:人)

区分	登録患者		活動性結核								有病率	不活動性結核	不明	潜在性結核感染症 (別掲)
	登録者数	登録率 (人口10万対)	活動性結核総数	活動性肺結核					肺外結核					
				登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	その他						
				初回治療	再治療	計								
0~4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
5~9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
10~14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
15~19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
20~29歳	2	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9
30~39歳	9	19.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	10
40~49歳	14	27.7	1	1	1	-	1	-	-	-	2.0	7	6	25
50~59歳	6	14.4	3	2	1	-	1	1	-	1	7.2	1	2	22
60~69歳	21	43.7	2	1	1	-	1	-	-	1	4.2	13	6	4
70歳以上	60	111.1	11	10	6	-	6	4	-	1	20.4	38	11	2
合計	112	32.7	17	14	9	-	9	5	-	3	5.0	67	28	78

(平成25年12月末現在)

(5) 結核登録除外状況

(単位:件)

区分	死亡		観察不要	転出	転症	その他の理由	計
	結核	その他					
大津市	4	21	80	3	4	1	113

(平成25年1月~12月末)

(6) 結核患者保健指導 (平成25年)

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。

対象者 (新規登録者): 78人

実施方法及び件数: 訪問 34件、来所 33件、電話 11件

(7) DOTS (直接服薬確認療法) 事業 (平成25年)

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。

対象者: 101人

実施方法及び件数 (延べ): 訪問 87件、電話 94件、来所 46件、その他 (メール等) 10件

(8) 接触者健康診断 (平成25年度)

結核患者の発生届けを受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について法律第17条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数: 447人、受診者総数 434人 (職場健診等他機関実施分 10人含む)、受診率: 97.0%

健診結果: 異常なし 414人、潜在性結核感染症 18人、肺結核 1人、再受診勧奨中 1人

区分		保健所 実施分	医療機関 委託分
受診者数 (延件数)		509	51
内訳	胸部エックス線検査	283	51
	ツベルクリン反応検査	6	20
	IGRA 検査	274	2
	喀痰検査	-	-

単位: 件

※検査項目の

重複実施あり

### 3 特定感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」および「特定感染症検査等事業実施要綱」に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、早期発見及びまん延防止のため、性感染（梅毒）検査、HTLV-1検査、HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

#### (1) 相談数

(単位：件)

区 分		来所（検査時も含む）	電話	合計	
梅毒	男	196	-	196	
	女	105	1	106	
HIV	男	346	19	365	
	女	164	4	168	
	相談内容延件数（単位：件）		661	48	709
	相談内容	症状について	80	13	93
		検査について	165	18	183
		感染経路	158	9	167
		予防方法	200	8	208
患者発生状況		11	-	11	
その他	47	-	47		
HBV	男	186	2	188	
	女	98	-	98	
HCV	男	183	-	183	
	女	92	2	94	
HTLV-1	男	1	-	1	
	女	2	1	3	

#### (2) 特定感染症検査実施状況

##### 【検査日時】

毎月第2・4火曜日 13:10～15:30 計22回

即日検査（梅毒、HIV抗体、B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査）

毎月第2火曜日 16:00～16:30 計10回

通常検査（HTLV-1抗体検査）

##### ○検査受検者数

(単位：人)

区 分		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
梅毒	男	3	44	69	37	25	178
	女	6	39	30	13	5	93
HIV	男	3	47	69	39	28	186
	女	6	38	30	13	5	92
HBV	男	3	45	68	36	25	177
	女	6	39	30	13	6	94
HCV	男	3	44	69	37	24	177
	女	6	37	30	13	5	91
HTLV-1	男	-	-	1	-	-	1
	女	-	-	1	1	-	2

#### (3) HIV普及啓発事業

HIV・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内店舗の協力や大学との連携により啓発活動を行っている。

##### ○HIV検査普及週間関連イベント（平成25年6月1日～6月7日）

協力店舗（コンビニエンスストア）16店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：1,554部

京阪電車へのポスター掲示

○おおつ健康フェスティバル

啓発コーナーの設置

○世界エイズデー関連イベント（平成 25 年 12 月 1 日～12 月 9 日）

協力店舗（コンビニエンスストア）15 店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：1,435 部

京阪電車へのポスター掲示

保健所ロビーに啓発コーナーを設置

大学の啓発イベントへ資材提供：2 校（啓発資材配布数：570 部）

○啓発ポスターの作成、掲示依頼

75 機関（大学・専門学校：12 病院：15 公共施設：47 医師会 1）

#### （４）緊急肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎のハイリスク者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象として、指定医療機関において肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

○受検者数

（単位：人・件）

区 分	実人数	検査種別（延べ件数）	
		HBs	HCV
受検者数	4	3	4

#### （５）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

○申請受付状況

（単位：件）

種別・性別	年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
		B型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	1	-	-	-	-	-	-	1
C型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	-	5	9	9	13	4	-	40
	女	-	1	2	2	11	5	6	1	28
	計	-	1	7	11	20	18	10	1	68
インターフェロン 治療	男	-	1	5	9	9	13	4	-	41
	女	-	1	2	2	11	5	6	1	28
	計	-	2	7	11	20	18	10	1	69
B型肝炎 核酸アナログ製剤 治療	男	-	-	7	26	31	29	9	-	102
	女	-	-	1	7	5	19	5	-	37
	計	-	-	8	33	36	48	14	-	139
インターフェロン治療 核酸アナログ製剤 治療 合計	男	-	1	12	35	40	42	13	-	143
	女	-	1	3	9	16	24	11	1	65
	計	-	2	15	44	56	66	24	1	208

## 4 予防接種

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第5条に基づき各種予防接種を実施している。

平成24年9月よりポリオが生ワクチンから不活化ワクチンに変更され、平成24年11月より四種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）が導入された。平成25年度よりヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんが定期化された。

全国的に風しんが流行したため、先天性風しん症候群の予防を目的に、緊急対策として風しん予防接種について費用助成を行った。

### (1) 定期接種予防接種者数

#### ①ポリオ

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
24	2,882	3,784	3,332	57	(※1) 10,055
25	280	648	866	2,270	4,064

※平成24年9月1日より生ワクチンから不活化ワクチンに変更された。そのため、表中の数字は平成24年9月1日から平成25年3月31日までの不活化ワクチンの接種件数となっている。  
平成24年4月1日から8月31日までの生ワクチンの数字は2,010件である。

#### ②四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
24	889	667	418	1	(※1) 1,975
25	3,055	3,030	2,919	275	9,279

※平成24年11月1日より四種混合ワクチンが導入された。そのため、表中の数字は平成24年11月1日から平成25年3月31日までの四種混合ワクチンの接種件数となっている。

#### ③三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
23	3,096	3,116	3,098	3,119	12,429
24	2,011	2,342	2,554	3,258	10,165
25	63	124	202	2,862	3,251

#### ④BCG

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
23	2,935	2,806	95.6
24	2,966	2,771	93.4
25	2,930	2,642	90.2

※平成25年度より、対象者が生後12か月に至るまでの者に引き上げられた。



⑤高齢者インフルエンザ (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
23	69,612	34,103	48.9
24	71,246	34,995	49.1
25	75,082	36,811	49.0

⑥日本脳炎 (単位：件・%)

年度	I 期 (初回接種)			I 期 (追加接種)			II 期 (追加接種)			延べ接種者数		
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		接種率	対象者		接種者	
		1回目	2回目			1回目	2回目				1回目	2回目
23	3,237	5,713	5,535	3,285	6,209		3,437	7,156		24,613		
24	3,170	3,983	4,074	3,264	5,347		3,528	2,041		15,445		
25	3,190	3,602	3,605	3,205	4,315		3,456	1,290		12,812		

- ※1. 接種率は特例対象者がいるため出していない。
- ※2. 平成 17 年 5 月 30 日より、平成 22 年 3 月末まで、接種勧奨を差し控えた。
- ※3. 平成 22 年度より、3 歳児の接種勧奨を再開。
- ※4. 平成 23 年 5 月 20 日より、平成 7 年 6 月 1 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた者を特例対象者として、接種年齢が緩和された。
- ※5. 平成 25 年度より、平成 7 年 4 月 2 日から平成 7 年 5 月 31 日までに生まれた者も特例対象者に追加された。

⑦二種混合 (ジフテリア・破傷風) (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
23	2,935	2,806	95.6
24	3,424	2,762	80.6
25	3,441	2,723	79.1

⑧麻しん・風しん (単位：件・%)

年度	第 1 期			第 2 期				
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		接種率
23	3,108	麻風混合	2,874	92.5	3,253	麻風混合	2,830	86.9
		麻しん	3			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	
24	3,106	麻風混合	3,130	100.8	3,126	麻風混合	3,097	99.1
		麻しん	-			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	
25	3,094	麻風混合	2,907	94.0	3,286	麻風混合	3,163	96.5
		麻しん	1			麻しん	1	
		風しん	1			風しん	6	

年度	第 3 期			第 4 期			延べ接種者数			
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		麻風混合	麻しん	
23	3,447	麻風混合	3,040	88.2	3,438	麻風混合	2,939	86.1	麻風混合	11,683
		麻しん	-			麻しん	2		麻しん	5
		風しん	3			風しん	21		風しん	24
24	3,650	麻風混合	3,068	84.2	3,392	麻風混合	2,278	67.4 ※	麻風混合	11,573
		麻しん	1			麻しん	2		麻しん	3
		風しん	3			風しん	7		風しん	10
25									麻風混合	6,070
									麻しん	2
									風しん	7

- ※1. 平成 23 年度中に平成 24 年度対象者が接種しているため、4 期としては 80.2%の接種率となる。
- ※2. 平成 25 年度からは経過措置が終了しているため、第 3 期及び第 4 期を廃止した。

⑨ヒブ

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
25	3,288	3,125	3,295	3,354	13,062

⑩小児用肺炎球菌

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
25	3,293	3,182	3,148	2,920	12,543

⑪ HPV

年度	接種者			合計
	1回目	2回目	3回目	
25	116	154	234	504

※平成25年6月から接種勧奨を差し控えた。

(2) 風しん任意予防接種費用助成

費用助成件数 1,291件

平成25年6月1日から平成25年12月31日まで費用助成を実施。

平成25年4月1日から5月31日までも遡及し費用助成を行った。

## 5 特定疾患

当該事業は、滋賀県特定疾患治療研究事業であり、県から委託を受け特定疾患医療受給者証の申請受付及び経由事務を行っている。

### (1) 特定疾患医療受給者証申請者数

(平成26年3月31日現在) (単位: 件)

医療受給者数	新規申請者数	更新申請者数
2,351	322	2,206

### (2) 特定疾患医療受給者数

(平成26年3月31日現在) (単位: 件)

	疾患名	合計	男	女	0～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1	ベーチェット病	39	21	18	-	1	3	6	7	11	11
2	多発性硬化症	51	7	44	1	7	10	12	10	4	7
3	重症筋無力症	61	19	42	1	-	1	3	14	16	26
4	全身性エリテマトーデス	126	23	103	2	12	23	23	25	23	18
5	スモン	7	1	6	-	-	-	-	1	1	5
6	再生不良性貧血	23	5	18	2	1	3	2	3	4	8
7	サルコイドーシス	51	16	35	-	1	7	3	10	14	16
8	筋萎縮性側索硬化症	15	7	8	-	1	1	1	1	5	6
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	92	17	75	-	1	6	5	14	27	39
10	特発性血小板減少性紫斑病	62	15	47	-	2	5	10	9	12	24
11	結節性動脈周囲炎	18	9	9	-	-	2	1	3	5	7
12	潰瘍性大腸炎	543	295	248	10	57	95	131	101	85	64
13	大動脈炎症候群	8	-	8	-	-	1	3	-	1	3
14	ビュルガー病	15	12	3	-	-	1	-	2	3	9
15	天疱瘡	9	4	5	-	-	1	-	2	3	3
16	脊髄小脳変性症	56	23	33	-	-	1	4	6	17	28
17	クローン病	107	69	38	3	24	28	26	10	11	5
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	悪性関節リウマチ	22	7	15	-	-	1	1	5	9	6
20	パーキンソン病関連疾患	414	176	238	-	-	1	3	19	78	313
21	アミロイドーシス (原発性)	4	3	1	-	-	-	-	-	3	1
22	後縦靭帯骨化症	67	40	27	-	-	-	4	9	18	36
23	ハンチントン舞踏病	5	5	-	-	-	-	1	2	2	-
24	モヤモヤ病	36	16	20	6	4	6	9	5	6	-
25	ウェゲナー内芽腫症	2	2	-	-	-	-	-	-	1	1
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	129	99	30	-	3	8	12	19	34	53
27	多系統萎縮症	36	13	23	-	-	-	1	3	11	21
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	膿疱性乾癬	5	3	2	1	-	-	2	1	-	1
30	広範脊柱管狭窄症	19	14	5	-	-	-	-	-	9	10
31	原発性胆汁性肝硬変	56	10	46	-	-	-	2	8	23	23
32	重症急性膵炎	4	1	3	-	-	-	-	1	-	3
33	特発性大腿骨頭壊死症	56	31	25	-	2	7	12	8	11	16
34	混合性結合組織病	22	5	17	1	-	1	3	3	7	7
35	原発性免疫不全症候群	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	26	20	6	-	-	1	-	2	9	14
37	網膜色素変性症	57	21	36	-	-	4	3	11	15	24
38	プリオン病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	原発性肺高血圧症	7	3	4	-	1	2	1	-	2	1
40	神経線維腫症	12	6	6	2	3	-	2	1	2	2
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	バッド・キアリ(Budd-chiari)症候群	4	3	1	-	-	-	1	-	2	1
43	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧)	5	-	5	-	-	-	1	1	1	2
44	ライゾーム病(ファブリー病含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	疾患名	合計	男	女	0～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
45	副腎白質ジストロフィー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	家族性高コレステロール血症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
47	脊髄性筋萎縮症	6	4	2	1	-	-	2	1	-	2
48	球脊髄性筋萎縮症	4	3	1	-	-	-	1	-	2	1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8	6	2	-	-	-	1	4	3	-
50	肥大型心筋症	12	5	7	-	-	-	2	2	4	4
51	拘束型心筋症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	ミトコンドリア病	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	重症多形滲出性紅班 (急性期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55	黄色靱帯骨化症	10	7	3	-	-	-	1	2	-	7
56	間脳下垂体機能障害	37	16	21	-	5	7	4	7	7	7
	合 計	2,351	1,063	1,288	30	125	227	299	332	501	837

## 6 難病

### 難病対策推進事業

当該事業は、国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の適切な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者およびその家族の生活の質(QOL)の向上に資することを目的として実施している。

#### (1) 特定疾患新規申請及び更新申請時面接相談 (単位：件)

新規申請者数	新規申請時面接相談	更新申請者数	更新申請時面接相談
322	255	2,206	1,222

#### (2) 難病患者訪問指導及び面接相談 (単位：件)

	訪問指導		面接相談	
	実人数(人)	延べ件数(件)	実人数(人)	延べ件数(件)
筋萎縮性側索硬化症	12	32	4	8
その他の難病	42	48	33	51
計	54	80	37	59

#### (3) 医療講演会及び相談会

##### ① 全身性エリテマトーデス (SLE) 医療講演会及び交流会 (草津保健所と合同開催)

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成 25 年 10 月 13 日 草津市立市民交流 プラザ	患者 6 人 家族 2 人 計 8 人 (参加総数 25 人)	講演：「全身性エリテマトーデス (SLE) の基礎知識と日常生活の過ごし方」 講師：藤井 隆夫 氏 (医師) (京都大学医学部附属病院 免疫・膠原病内科 (リウマチセンター) 特定准教授)

##### ② 特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症医療講演会 (草津保健所と合同開催)

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成 25 年 12 月 7 日 大津市生涯学習 センター	患者 6 人 家族 3 人 計 9 人 (参加総数 13 人)	講演：「特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症病気の理解と療養のポイント」 講師：稲垣 宏一 氏 (医師) (大津赤十字病院 循環器科)

##### ③ パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 25 年 9 月 20 日 大津市役所別館 1 階 大会議室	患者 37 人 家族 16 人 関係機関 48 人 計 101 人	講演：「基礎から学ぶパーキンソン病のお薬」 講師：金 一暁 氏 (医師) (滋賀医科大学医学部附属病院 神経内科)

#### (4) 難病従事者研修会

##### ① 神経難病従事者研修会 1

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 25 年 6 月 12 日 大津市生涯学習 センター	介護支援専門員 66 人 訪問介護員 14 人 その他 15 人 計 95 人	講演：「基礎から学ぶ神経難病」 講師：廣田 伸之 氏 (医師) (大津市民病院 神経内科部長)

## ② 神経難病従事者研修会 2

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 25 年 12 月 17 日 大津市役所別館 1 階 大会議室	介護支援専門員 40 人 訪問介護員 16 人 その他 5 人 計 61 人	講演：「知っておきたい 摂食・嚥下の基礎知識」 講師：松田 芳恵 氏（言語聴覚士） （京都光華女子大学 准教授）

## ③ 災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 25 年 11 月 11 日 大津市役所別館 1 階 大会議室	介護支援専門員 29 人 訪問介護員 3 人 その他 14 人 計 46 人	講演：「すぐに役立つ 災害のそなえ」 講師：小西 かおる 氏（保健師） （大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座 准教授）

## (5) ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、多機関でチーム支援を必要とするケースに対して関わる地域スタッフとともに支援方法について検討した。年 30 回実施

## (6) ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族のQOLの向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を 6 回開催した。

- 多系統萎縮症患者の排泄後の拭き取り動作と安全に無理なくできるリハビリの検討  
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 大橋 潤一（理学療法士）
- 転倒が多い進行性核上性麻痺患者の環境整備  
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 大橋 潤一（理学療法士）
- ALS 患者の「伝の心」の入力スイッチ、姿勢の検討  
アドバイザー：滋賀県社会就労事業振興センター 市田 恭子 氏（障害者 IT 利用推進コーディネーター）、滋賀県福祉用具センター 谷 佳代 氏（作業療法士）
- 夫婦共にパーキンソン病患者の自宅の環境整備  
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 大橋 潤一（理学療法士）
- パーキンソン病患者の自宅でできるリハビリの検討  
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 大橋 潤一（理学療法士）
- ハンチントン病患者の入浴補助用具の選択  
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 大橋 潤一（理学療法士）

## (7) 在宅療養支援体制の整備に関する事業

### ① 神経難病患者の在宅診療に関する調査

調査期間	調査対象	内 容
平成 25 年 8 月 22 日 ～9 月 10 日	公益社団法人大津市医師会の会員である診療所（眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、精神科のみの診療所を除く）	・神経難病患者の在宅診療に関する現状と意識調査

### ② 難病患者の在宅医療あり方検討会

開催日・場所	出席者	内 容
平成 25 年 7 月 4 日 大津市保健所大会議室	在宅医、専門医、介護支援専門員、訪問看護師、病院地域連携担当者等 22 人	・難病患者の在宅療養生活の実情と今後の支援のあり方について
平成 25 年 10 月 3 日 大津市保健所大会議室	同上 20 人	・同上

③ 神経難病在宅支援対策推進会議災害支援部会

開催日・場所	出席者	内 容
平成 25 年 9 月 6 日 大津市保健所大会議室	専門医、在宅医、病院地域 連携担当者、介護支援専門 員、訪問看護師等 46 人	・災害時支援マニュアルについて

④ 大津市神経難病在宅支援対策推進会議

開催日・場所	出席者	内 容
平成 26 年 3 月 13 日 大津市保健所大会議室	重症難病医療拠点・協力病 院等関係機関 28 人	・在宅神経難病患者に対する取り組み状況報告 ・次年度の事業計画について

(8) 各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、友の会の活動内容を紹介した。

② ケアクラフト002（自助具工房）活動支援

特定疾患更新申請時に各会場で自助具の展示コーナーを設置し、自助具や活動内容の紹介等を行った。また、パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、自助具の展示コーナーを設けた。

## 7 精神保健

### (1) 精神保健福祉対策

保健所は、地域精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害者の早期治療や社会復帰を支援するため、専門医・心理士・保健師による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、精神障害者の家族教室等の事業を行っている。

#### ① 精神障害者保健福祉手帳の申請交付状況

(単位：件)

区分	1級	2級	3級
18歳以上	162	1,184	459
18歳未満	1	8	4
計	163	1,192	463
		1,818	

#### 年次推移

(単位：件)

等級	H21	H22	H23	H24	H25
1級	112	125	140	152	163
2級	808	876	968	1,098	1,192
3級	341	372	390	435	463
計	1,261	1,373	1,498	1,685	1,818

#### ② 通院医療費公費負担状況

(単位：延べ件)

区分	計		20歳未満		20～29歳		30～39歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	1,951	2,104	142	86	217	237	421	414
	4,055		228		448		835	

区分	40～49歳		50～59歳		60～64歳		65歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	531	559	343	359	121	163	176	286
	1,090		702		284		462	

### (2) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害を持つ人及び家族に対して、正しい知識を提供するとともに、本人及び家族が早期に適切な対処ができるよう支援することを目的として、専門医や保健師による相談を実施している。

(単位：件)

区分	相談、デイケア、訪問指導				相談(再掲)								
	実人員	新規者の受付経路			実人員	延 人 員							
		市町	医療機関	その他		社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計
男	147	13	10	41	112	3	5	16	7	59	120	65	275
女	128	12	10	39	99	-	2	1	-	10	93	92	198
計	275	25	20	80	211	3	7	17	7	69	204	157	473

区分	デイケア(再掲)		訪問指導(再掲)									電話相談(含メール)延人員
	実人員	延人員	実人員	延 人 員								
				社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計	
男			78	-	6	13	4	35	63	85	206	
女			61	-	4	-	-	1	43	69	117	
計			139	-	10	13	4	36	106	154	323	1,817



① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	-	1	-	-	-	1
家族	1	-	1	3	1	5	-	11
保健師、福祉	-	1	-	-	2	1	-	4
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1	1	1	4	3	6	-	16

B. 相談者別、本人の受療状況

（単位：人）

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	1	-	-	1
家族	10	-	2	12
保健師、福祉	3	-	-	3
その他	-	-	-	-
合計	14	-	2	16

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
統合失調症	-	1	-	2	-	1	-	4
神経症	1	1	-	-	-	-	-	2
アルコール依存症疑	-	-	-	-	-	1	-	1
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-	-	-	-
妄想性障害	-	-	-	1	1	1	-	3
感情障害	-	-	-	-	-	-	-	-
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	2	-	2
発達障害	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	1	-	2	1	-	4
合計	1	2	1	3	3	6	-	16

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	9
主治医に相談	-
対応指導	7
その他	-
合計	16

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
本人	-	5	1	-	6
家族	3	5	4	-	12
保健師、福祉	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
計	3	10	5	-	18

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	5	-	1	6
家族	12	-	-	12
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
計	17	-	1	18

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	18
未就労	-
不登校・進路	-
暴力	-
強迫症状	-
パニック	-
その他	-
計	18

D. 相談医の指示の内容

項目	件数
要医療、受診指導	3
主治医に相談	-
対応指導	15
その他	-
合計	18

E. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
統合失調症疑	1	1	1	-	3
社会的ひきこもり	-	4	3	-	7
広汎性発達障害疑	2	5	1	-	8
強迫性障害	-	-	-	-	-
摂食障害	-	-	-	-	-
うつ状態	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-
その他	1	-	2	-	3
計	4	10	7	-	21

③ ひきこもり心理相談

思春期相談で社会的ひきこもりや発達障害疑いと判断され、本人に対して継続的な相談が必要なケースについて、月1回、定例で心理士による面接を実施している。

実施状況：12回 延べ28件 実人数5人

④ 定例ケース検討会開催状況

目的：精神障害者への個別支援を行うに際して処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの検討を行い支援者が対応の方向性を明らかにする機会とする。

開催状況：4回

助言者：精神保健福祉センター 地区担当医 保健師

(単位：件)

開催回数		4
検討延べ件数		7
相談 経路	保健所の保健師	3
	健康推進課・すこやか相談所の保健師	1
	あんしん長寿相談所のスタッフ	1
	学校の教師	1
	児童相談所・子ども家庭相談室の相談員	1
	生活福祉課のケースワーカー	-
	障害者相談支援事業所の相談員	-
事例 の 対象	一般	3
	アルコール	-
	思春期	2
	薬物依存	-
	発達障害	-
	パーソナリティ障害	2
その他	-	

## (2) 家族教室、家族交流会事業

### ① 家族教室

目的：病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶ

対象：統合失調症の患者の家族で主治医に了承がとれ、継続して参加できる家族

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成25年10月24日 13:30～15:30	14人 [12家族]	講話：「統合失調症という病気について」 講師：中島聡医師 家族交流	保健予防課 すこやか相談所
第2回	同年 11月22日 13:30～15:30	6人 [6家族]	大津市制度やサービスの紹介 家族交流	障害福祉課 オアシスの郷
第3回	同年 12月10日 13:30～15:30 (家族交流会と合同開催)	6人 [6家族]	湖の子会のお話 「湖の子会について、体験談」 家族交流	やすらぎの職員

### ② 家族交流会

目的：精神障害者をかかえる家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐことで、家族がゆとりをもって暮らすことができ、主体的に活動への参加ができる

対象：平成24年度までに「家族教室」へ参加した精神障害者を抱える家族（64家族）

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成25年7月11日 14:00～16:00	26人 (28家族)	アトリー推進事業の紹介、琵琶湖病院アトリーチーム講話、家族交流	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎの職員
第2回	同年 10月 2日 10:00～12:00	7人 (9家族)	特定非営利法人ウッディ伊香立の紹介と見学、家族交流	
第3回	同年 12月10日 13:30～15:30 (家族教室と合同開催)	8人 (8家族)	湖の子会のお話 「湖の子会について、体験談」 家族交流	
第4回	平成26年2月 6日 13:30～15:30	19人 (20家族)	講話：「統合失調症と生活習慣病」 講師：中島聡医師 家族交流	

### ③ ひきこもり家族交流会

目的：ひきこもりケースの家族を対象に学習会および家族交流を通じて

- ・ひきこもりの理解をする。
- ・日頃の対応を見直せるよう支援する。

対象：思春期精神保健相談を利用し、医師の判定で精神疾患・障害が否定された15歳以上のひきこもりケースの家族。（24家族）

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成25年6月25日 14:00～16:00	6人 (5家族)	「大津市若者サポートステーションについて」活動紹介 家族交流・意見交換 助言者 大津市若者サポートステーションコーディネーター	保健予防課 やすらぎの職員
第2回	同年 8月19日 14:00～16:00	7人 (7家族)	「家族のコミュニケーションについて」 家族交流・意見交換 助言者 臨床心理士（心理相談担当）	
第3回	同年 11月14日 14:00～16:00	6人 (6家族)	「ひきこもりと関連しやすい精神疾患について」 家族交流・意見交換 助言者 精神科医師（思春期相談担当）	
第4回	平成26年3月11日 14:00～16:00	7人 (6家族)	「家族のコミュニケーションについて本人とのかかわりを考える～ポジティブなコミュニケーションのために～」 家族交流・意見交換 助言者 ひきこもり支援センター臨床心理士	

(4) 精神保健福祉ボランティア連絡会

精神保健福祉関連の施設や地域でのサロンにおいて活動中のボランティアに対し、情報交換の場や学習の機会を設け、ボランティアの自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として実施している。42人に案内送付した。

区分	日時	参加者数(人)	内容
第1回	平成25年10月10日 14:30～16:00	12人	研修「うつ病の理解とその対応について」 意見交換「地域での活動について」 助言者：石黒淳医師、保健所保健師
第2回	平成26年2月27日 14:00～15:30	7人	情報提供「地域でのサロンの活動状況について」 意見交換「地域での活動について」 助言者：保健所保健師

(5) 従事者研修会

日時：平成26年3月3日 9:30～14:30「大津市自殺未遂者支援研修会」  
 場所：大津市役所 別館 大会議室  
 内容：「自殺未遂者の理解と援助」 講師 松本俊彦医師（自殺予防総合対策センター）  
 「事例検討会」 助言 松本俊彦医師（自殺予防総合対策センター）  
 参加者：52名（医療機関6名、消防12名、相談支援事業所3名、行政21名、他10名）

(6) 精神保健福祉担当者連絡会

地域移行支援・地域定着支援や保健所事業を検討する場として、精神保健福祉担当者連絡会（自立支援協議会事務局、障害福祉課、相談支援事業所、精神科病院、保健予防課が出席）を実施した。

区分	日時	参加者数(人)	内容
第1回	平成25年4月17日 15:00～17:00	13人	各機関の体制と事業計画 地域移行支援、地域定着支援の課題の検討
第2回	同年 7月3日 15:00～17:00	19人	地域定着支援の実施状況と課題の検討 保健所の家族教室への対象者紹介について

(7) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

精神障害者又はその疑いのある者について、ただちに入院させなければ、精神障害のために自身を傷つけ、または他人を害するおそれがある者に対し、法律に規定する警察の通報等に基づき、その者について指定医の診察をさせるため、滋賀県に対し通報等の経由事務を行う。

① 申請・通知状況 (単位：件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	43	2	45
	女	15	5	20
	計	58	7	65
申請・通報状況	家族	-	-	-
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	1	1	2
	救急隊	-	-	-
	警察	43	6	49
	検察官	1	-	1
	矯正施設の長	13	-	13
	知事	-	-	-
	計	58	7	65

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請	通報				計
	23条	24条	25条	26条	26条の2	
実件数	2	49	1	13	-	65
調査件数	2	49	1	13	-	65
診察件数(27条)	2	33	-	-	-	35
緊急措置入院数(29条の2)	2	20	-	-	-	22

③ 診察状況

(単位：件)

区分	大津市	市外	計
要措置	20	3	23
措置不要	10	2	12
計	30	5	35

(8) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移

(単位：件)

年度	19	20	21	22	23	24	25
滋賀県	61	41	24	56	55	76	63
大津市	22	8	6	15	16	23	23

③ 入院状況

(単位：件)

区分	平成24年度末	本年度中増減		平成25年度末
		措置命令	措置解除	
男	2	15	17	-
女	1	8	9	-

(9) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	21	22	23	24	25
入院届	295	332	331	333	343
退院届	294	348	347	359	343
定期病状報告	197	196	183	181	171

## (10) 自殺対策

滋賀県大津保健所において、平成18年度から20年度まで、自殺予防対策の一環として、3年計画でうつ予防対策事業の取組が行われた。

平成21年度から、地域自殺対策緊急強化基金補助金を活用し、自殺対策に取り組んでおり、平成25年度は下記の事業に取り組んだ。

事業名	内 容
相談機関ネットワーク体制構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市自殺対策連絡協議会 第1回（平成25年7月25日）：出席者26人 検討部会の議事報告、自殺予防週間の街頭啓発、今年度の取り組み</li> <li>第2回（平成26年2月20日）：出席者17人 「いのちをつなぐ相談員」派遣事業の報告、自殺予防週間報告、自殺対策強化月間について、各機関の取り組みの情報交換</li> </ul>
大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力病院に入院した自殺未遂者への「いのちをつなぐ相談員」による支援 対象者：17人 協力病院：大津赤十字病院、大津市民病院 支援回数：881回（面接：75、訪問48、電話相談220、関係機関連絡448、関係機関同行8、ケース会議68、その他14）</li> <li>・大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業検討部会 第1回（平成25年6月27日）：出席者14人 事業の概要、実施状況、事例検討</li> <li>第2回（平成25年12月12日）：出席者11人 事業の現状報告、課題の検討</li> <li>・事例検討会：5回 ・協力病院との連絡会：4回（各病院2回）</li> </ul>
うつ病重症化予防促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津G-Pネット定着促進会議 第1回（平成25年7月25日）：出席者12人 一般診療科と精神科の連携に関する調査結果について、G-Pネット活用の取り組みについて、「いのちをつなぐ相談員」派遣事業について</li> <li>第2回（平成26年2月20日）：出席者14人 G-Pネット活用の取り組みについて、「いのちをつなぐ相談員」派遣事業について</li> <li>・地区別医師交流会（大津市医師会の移動懇談会において共催） 5.6組：平成25年10月5日、30人（精神科医2人） 1.2組：平成26年1月25日、21人（精神科医1人） 9.10組：同年 3月8日、21人（精神科医2人）</li> <li>・専門医会における大津G-Pネットの周知 滋賀県産婦人科医会 講師：有村真弓医師 参加者数：32人 滋賀県臨床整形外科医会 講師：中島聡医師 参加者数：17人</li> <li>・精神科への一般診療科との連携に関する調査を実施 対象：精神科医療機関16カ所、回収率100%</li> </ul>
人材養成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市自殺未遂者支援研修会 詳細は、7精神保健（5）従事者研修会に記載</li> </ul>
普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防週間の啓発（平成25年9月10日～16日） 保健所、健康推進課、すこやか相談所にのぼりを設置 街頭啓発を堅田駅前、瀬田駅前、大津パルコ前で実施し、啓発用ティッシュ、啓発用定規を2,100人に配布（9月10日）</li> <li>・健康フェスティバルでの啓発（平成25年10月20日） 参加者数：150人 アルコールパッチテスト、うつ病パンフレット等を用いて啓発</li> <li>・出前講座「心も元気に過ごしていますか？」 実施回数：7回、参加者数：201人</li> <li>・医師会の出前講座への参画 平成25年5月18日 講師：石黒淳医師 参加者数：24人 同年 7月6日 講師：有村真弓医師 参加者数：20人 同年 8月10日 講師：国本昌義医師 参加者数：5人 同年 11月9日 講師：柴原証基医師 参加者数：27人</li> <li>・自殺対策強化月間の取り組み 自殺対策啓発クリアファイルを5,000枚を作成</li> <li>・民生委員児童委員教室（平成26年3月5日～8日） 「精神保健について（うつ病、アルコール、ゲートキーパー）」 実施回数：5回、講師：保健所保健師、参加者数：585人</li> </ul>

## 8 健康被害

### (1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

#### ① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況

(単位:件)

	件数
被爆者健康手帳交付者数	169
健康診断受診者証交付者数	10
医療特別手当受給者数	7
特別手当受給者数受給者数	4
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	111
保健手当受給者数	12
保健手当(増額分)	-
介護手当受給者数	-

#### ② 被爆者健康手帳交付年次別推移

(単位:件)

年度	21	22	23	24	25
大津市	193	187	182	174	169
滋賀県	454	439	429	406	391

### (2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況 (単位:人)

	1回目	2回目	3回目
対象者数	185	182	177
受診者数	23	19	18
受診率	12.4%	10.4%	10.1%
要精検者数	6	8	7

### (3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移 (単位:人)

(単位:人)

年度	21	22	23	24	25
対象者数	191	190	186	182	173
申込者数	39	35	32	30	29
受診者数	39	34	30	29	28
要精検者数	18	13	7	10	8

### (4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移 (単位:人)

年度	22	23	24	25
対象者数	78	78	82	81
申込者数	29	38	29	38
受診者数	29	38	29	35
要精検者数	7	7	7	12

### (5) アスベスト対策事業

アスベスト(石綿)による健康被害を受けられた方、または、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

申請者数	2人
------	----